

豊頃町成人式 令和4年度以降の式典の名称 および対象者について

問合せ先

教育課社会教育係
☎579・5801

「豊頃町成人式」の令和4年度以降の式典の名称の変更、および対象者についてお知らせします。

「豊頃町成人式」から「豊頃町はたちを祝う会」に

式典の名称を「豊頃町成人式」から「豊頃町はたちを祝う会」に変更します。

対象者について

今までどおり、20歳を対象に実施します。

民法改正により令和4年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことに伴い、民法改正後の成人式の対象年齢につきましては、各自自治体で判断することとなっております。本町では、次の理由から、これまでと同様に20歳を迎える方を対象に式典を実施いたします。

- ・ 18歳を対象とした場合、大学受験や就職など進路選択の多忙な時期と重なり負担がかかるため。
- ・ 飲酒や喫煙などの年齢制限は20歳のままであり、大人としての自覚を改めて促す機会にするため。
- ・ 進路や就職で一度地元を離れた新成人が再び故郷に集まり、家族や同級生、知人友人と交流する機会となるため。

令和4年度「豊頃町はたちを祝う会」について

とき 令和5年1月8日(日) 14時～

ところ 豊頃町える夢館はるにれホール

対象者 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方

※対象者の方には、ご案内を令和4年11月中旬に送付いたします。

夏休み期間中の 学校閉庁日のお知らせ

問合せ先

教育課学校教育係
☎579・5801

町内全ての小中学校で、夏休み期間中の「学校閉庁日」を次のとおり設定することとしましたので、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。なお「学校閉庁日」には職員が不在となるため、学校への連絡等はこの期間外に、また、緊急連絡が必要な場合には、次の連絡先までお願いします。

- 【学校閉庁日】▽8月10日(水)～15日(月) ※土・日・祝日を含む
- 【緊急連絡先】豊頃町教育委員会学校教育係(える夢館内) ☎(579)5801

町民プールからのお知らせ

問合せ先

町民プール
☎574・4788

〔休館日〕

8月22日(月)・29日(月)

〔開館時間〕

▽8月1日から17日まで

▼10時～12時 / 13時～20時

▽8月18日から▼13時～20時

※小中学校の夏休み終了後から、13時からの開館になりますので、ご注意ください。

〔利用料金〕

町民 ▼ 無料

町外利用者 ▼ 小中学生 100円
高校生以上 200円

「第48回豊頃町水泳大会」参加者募集について

町民の水泳技術を高め、水泳を通して青少年の健全育成をはかることを目的に「第48回豊頃町水泳大会」を実施します。

日 8月27日(土) 10時～

所 豊頃町民プール

対 町内の小中学生

申 8月23日(火) までに教育委員会体育振興係へ申込用紙に記入して申込ください。申込用紙は、総合体育館に設置しています。

詳細▽競技方法や種目等、大会に関する問合せは役場施設課穴田(☎(574)2215)までご連絡ください。

豊頃町「報徳のおしえ」推進会議『ひろめよう！報徳の町に四つの心』

『報徳のおしえ』とともに

令和3年度「報徳のおしえ」講演会《中桐万里子氏講演》

講演テーマ「報徳」からはじまる豊かな未来創造へ〈その6〉

〈前号の続き〉

《この石切の仕事が、自らの命の時間を使うにふさわしい、使命だと感じられるようになるかもしれない。……》

石を切ると同じ地味な作業かもしれない。でもそれが、やらされ感で満杯になるのか、価値のある誇らしい仕事だと感じられるようになるのか。

あるいは、私こそがやるべき使命だと感じて、喜びを持って働くことができるのか。やっていること自体は同じかもしれない。でも、そこに色づく感じ、あるいはその根っこ、あるいはその力強さは、随分と変わるのではないかと思うのです。

金次郎はもう一度農民たちに、あるいは武士たちに、「自分の根っこを思い出し、そこから考えてみようじゃないか、自分の本当のこの仕事の意味は何なのか。もう一度考えるところから始めようじゃないか」と、そう呼びかけたのは、世界の見え方が大きく変わるから、そして自分の田畑・仕事場の方が、大きく変わるのではないかと、そんなふうに思うからでした。

では当の金次郎にとって、いったい始まりとはどんな場所であったのか、尊徳はいったいなぜ600もの村々に向かつていったのか、その始まりの場所を彼は

こんなふうに言います。

考えてみればそれは一つに、酒匂川という自らの故郷を流れていた川が存在があるかもしれない。彼自身は神奈川県小田原市で育ちました。この小田原市という町は、過去金次郎たちが生まれる前の富士山の噴火による影響で、大変に苦しんだ地域でした。

彼らが生まれる100年ほど前、富士山が噴火しました。その火山灰が降り積もり、土地が台無しになったばかりではなく、この川(酒匂川)に火山灰が降り積もってしまったのです。

川底が極端に浅くなりました。だからすぐに氾濫をおこす。少しの雨で村々に流れ出す。その決壊が起こるということが、繰り返されてきた場所であったのです。やっと作った田畑が台無しになるのは一瞬でした。そのことが本当に村の人たちを苦しめていました。

実は酒匂川というのは、江戸きつての暴れ川だった。江戸時代、この国の数少ない暴れ川だったと言われているのです。そのために江戸幕府は、酒匂川にたくさん技術者を投入しました。地縁も縁もないけれど、一流の技術者たちと呼ばれた人たちが、酒匂川にどんどん投入されていたのです。最新の技術でこの治水に命を懸けられていきました。



問合せ先

教育委員会社会教育係 ☎579・5801

多くの伝説的とも呼べる技術者たちが、この土地で多くの時間を費やし、知恵と技術を費やし、この村のための治水に命を懸けたという記録が残されていたのです。金次郎はそのことを知っていました。そして、自らが幼いころに住んでいたその土地が、多くの先輩たちが命懸けて守ろうとした。そんな土地だったということを知っている金次郎自身、実はその技術者たちの技術的な側面からの継承を受け継いでいます。600の村々の再建をする時には、この技術者たちが使った様々な技術を応用している。というふうにも言われています。

そして、金次郎も思うわけです。「全く地縁もなかったその村、小田原藩に命をかけた先輩たちへの恩返し、そんな者として私ももちろん地縁のない村も多くあるけれど、それでもその村に恩返しができるけれど、そんな思いを持っている。まさに自らが受け取ってきた場所、その場所はその思い。それは、また自分のほじまりの場所でもある」と。

そしてもう一つの始まりの場所、彼はこんなことも言います。

例えば600の村と言えば、「世のため人のために頑張りましたね、えらいです。すねないです。えらいです。えらいです。でも私は、世のため人のために何か

